

さくらフェス2019、ぜひ遊びにきて！！



演劇ファミリーMyu
さくらフェス2019みの～れ実行委員
ますぶち あやな
増 瀨 彩 菜 さん

「みの～れでは自分のやりたいことができる。そんな場所
とってます！」と笑顔で話してくれた増瀨さん。

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.140

梅の花がほころび始めた春の気配を感じていたら・雪のペンキ屋さんが一面、真っ白に染めてみたり。大きな雪だるまを作る子ども達を見かけて、楽しかった子どもの頃を思い出しました。三寒四温のこの時期はポカポカ体を温めてくれる甘酒がおすすすめですね。今回は、みの～れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」のメンバーで小美玉さくらフェスティバル2019実行委員も務める、石岡市八郷地区にお住まいの増瀨彩菜さん取材します。

さくらフェス

実行委員会に初参加！

増瀨さんにMyuとの出会いを聞いてみると、「高校の時、演劇をやっていました。知っている子がMyuに入っていたので、『まんまムーン』の時に体験と言うか、サブのような形で入りました。大道具とか小道具とか・プロの人が作った物かと思っていたら、一般の人が作っていて、主婦だったり団員の家族だったり。でもクオリティが高く驚きました。舞台には花道もあって本当に素敵でしたね。まさか自分がこの舞台上に立るとは思いませんでした。それから縁あって、関わらせていただいています。Myuは受け入れ体制が良く優しく包んでくれるって感じがします。公演の時も、どのタイミングではいついったらいいのかわからなかったときに、声をかけてくれて本当に嬉しかったです。演劇との出会いは高校生の時で、高校演劇祭の時に、みの～れが会

場でここに来たことがあったんです。不思議な縁があるんですね。今は大人になって、違う視点で高校演劇祭を観させていたいです」と懐かしそうに話す増瀨さん。今年はじめ、さくらフェスに実行委員で関わる増瀨さんは、「どこまで手を入れていいのかわからない状態です。突っ込んでいいのかわからない状態です。初めに参加してしまいました。初めてなのに、副委員長でグループ長になってしまいました(笑)。「大人の文化祭みたいな感じで楽しくやるよ」との一声で、周りに助けももらいながらどうにかなる！やるしかないなと思いました。今年のテーマは「体感」・「日常では体験できないことをやります。『初めて体験した』『来て良かった』と喜んでもらえたらいいなと思います」とのこと。

いい生活もできないでしょう。自分がフル充電じゃないと駄目ですよ。音楽はもとと好きで、どんなジャンルも聞いたり歌ったりします。音楽が好きなのはお母さん譲りかな？私がお母さんのお腹にいるときも音楽を聴かせてくれたらいいな」と話してくれました。さくらフェスの意気込みは「目の前の課題をクリアして、お客様と自分たちも楽しかったなって思えたらいいなと思います。昨年はMyuのメンバーとして、今年の実行委員としてさくらフェスに関わっていきます。みの～れは自分が叶えたいことを叶えられる場所。好きな事をしてる今が一番楽しい。」と笑顔で話してくれました。4月6日(土)、桜色に染まったみの～れと芝生の広場で盛り沢山なイベントを用意して皆さんをお待ちしています。ぜひ、遊びに来て下さいね。

(藤田 佐知子)